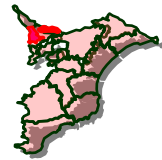


# 松戸保健所感染症情報



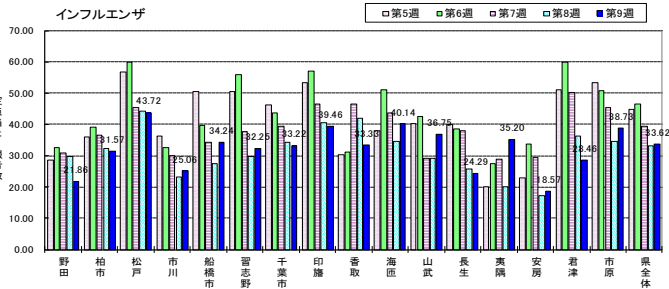
2016年3月

(2016年3月10日配信)

## ◆◆◆ 注目疾患 ◆◆◆

### ◆インフルエンザ情報

2016年9週の県全体の定点当たり報告数は、8週の33.02から増加し33.62となった。依然として報告数が多い状態が継続しており、注意が必要です。保健所別では、16保健所中8保健所管内で増加し松戸(43.72)、海匝(40.14)、印旛(39.46)、市原(38.73)、山武(36.75)、夷隅(35.20)、船橋市(34.24)で多い状況です。施設内集団発生への報告も多くあり、引き続き施設内感染予防対策を講じてください。



### ◆急性脳炎

(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)

急性脳炎は種々の病原体による脳組織の炎症に起因する疾患群の総称です。発熱、頭痛などの非特異的症候で始まることが多く、小児では不機嫌、腹部膨満、悪心、嘔吐などの症状も見られます。その後、神経障害に起因する症状が急激に、あるいは緩徐に出現します。

千葉県で2011年～2016年8週迄に届出のあった227例について見ると、年齢群別では5歳未満が132例で58.1%、5～9歳が50例で22.0%を占めました。症状等として報告されたのは、意識障害212例(93.4%)、発熱196例(86.3%)、痙攣157例(69.2%)、髄液細胞数の増加47例(20.7%)、嘔吐39例(17.2%)、頭痛29例(12.8%)、項部硬直20例(8.8%)でありました。(複数報告あり)。

予防については、ワクチン接種・ワクチンがない疾患に対しては個々の病原体伝播経路に応じた対策(手洗い等)が必要となります。症状がある場合は早めに受診しましょう。

○千葉県感染症情報センター:最新情報はこちら ⇒ <http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

### ◆耐性菌について

抗菌薬が無効な耐性菌は毎年世界各地で報告されています。多剤耐性でなければ我々の身の回りに存在していたり、体の中に常在菌として持っている菌も少なくありません。もし多剤耐性菌が体内に入ったとしても、ほとんどの人は何の症状も示さず、菌もやがて体からいなくなってしまう場合も多いと考えられています。しかし、多剤耐性菌を持った方が抗菌薬による治療を受けると、体の中で常在菌が少なくなり、代わりに多剤耐性菌が増えてしまいます。多剤耐性菌を体の中に持っているだけでは、必ずしも発熱などの症状が出るわけではありません。

多剤耐性菌は“接触感染”という形式で感染が広がります。つまり感染した人に直接触ったり、あるいは環境にいた菌に触れて感染するパターンです。このことから、標準予防策の手洗いや環境消毒が重要になります。これを機に施設等の感染症予防対策についても一度見直してみましょう。

### ◆感染症発生状況(2月分)…全数報告届出分

- 2類感染症/ 結核 11件
- 3類感染症/ なし
- 4類感染症/ レジオネラ症 1件
- 5類感染症/ 急性脳炎 1件、アメーバ赤痢 1件、後天性免疫不全症候群 2件、梅毒 2件、侵襲性肺炎球菌感染症 3件

### ◆松戸保健所管内の結核新規登録者数(2月分)

	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性	菌陰性その他		
松戸市	2	3	2	2
流山市	0	0	0	0
我孫子市	1	1	0	0
計	7		2	2

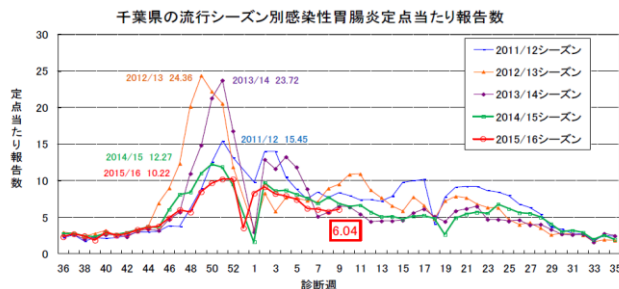
### ◆春休みに海外へ渡航される方へ

海外には日本にない感染症が発生している地域があります。渡航前に確認し、感染予防対策を行ってください。特に妊婦はジカウイルスの感染地域への渡航を控えるべきであることを含む勧告が発令されています。詳細につきましては、ホームページでご確認ください。

- 外務省ホームページ [http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian\\_search/](http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/)
- 厚生労働省検疫所 FORTH  
渡航にあたって:<http://www.forth.go.jp/useful/attention/>  
ジカウイルス感染症への注意について  
<http://www.forth.go.jp/news/2016/01261317.html>

### ◆感染性胃腸炎情報

2016年9週の県全体の定点当たり報告数は、8週の5.76から増加し6.04となりました。(下図)



まだ高い状況にあります。引き続き施設内での感染症予防対策を行い、感染拡大防止のための対策に努めてください。また、保護者、家族への指導等もお願いします。

### ◆麻疹及び風しんの定期的予防接種を受けましょう。

麻疹及び風しんの定期的予防接種(第2期)は、5歳以上7歳未満の小学校就学前の1年間にある児童を対象として実施しています。

2014年4月1日から2015年3月31日までの全国の接種率は第1期96.4%第2期93.3%でした。千葉県は第1期96.1%、第2期93.2%と平均を下回っています。この予防接種は流行予防等の観点から、対象者が小学校就学前の3月31日までに接種を受けることが非常に重要です。また、第1期の接種時期は、満1歳代です。第2期と同様、対象年齢になったら、早めに予防接種を実施しましょう。

保育施設・幼稚園等においては、麻疹及び風しんの定期予防接種の機会があることを対象者に十分周知し、未接種者への接種勧奨を徹底してください。

○厚生労働省 麻疹風しん予防接種の実施状況 >>> [こちら](#)

# 松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内      ▲ 県全体       警報基準値       終息基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

